

No.241101

研究課題名	膵臓癌に対する重粒子線治療後の予後因子解析
研究目的・方法	大阪重粒子線センターでの膵臓癌に対する重粒子線治療の成績を求め、有効性と安全性を評価する。全生存期間や局所制御期間の予後因子を解析することで、治療適応症例を選定する際の基準を最適化する。
研究期間	2024年11月11日～2024年12月31日
研究対象者	<p><適格基準></p> <ul style="list-style-type: none">・画像検査および臨床検査より診断された原発性膵臓癌であること。組織学的診断の有無は問わない。・画像診断により遠隔転移が無いと診断されていること。・切除不能、あるいは切除可能であるが患者本人の手術希望が無いこと。・同意取得時の年齢が18歳以上であること。・研究参加に関して文書による同意が得られていること。・当センターのキャンサーボードにおいて重粒子線治療の適応と判断されていること。 <p><除外基準></p> <ul style="list-style-type: none">・上部消化管内視鏡検査または画像検査にて内腔に突出する消化管浸潤所見がある症例・原発巣に対する放射線治療歴を有する症例・妊娠または妊娠している可能性がある、または授乳中の症例・その他、研究責任者・研究分担者が不適と認めた症例
利用する情報	データベース及びカルテに記録されている臨床情報、治療計画の画像等
研究責任者	一瀬 浩司